

平成 29 年度学校評価（自己評価）について

幼稚園における学校評価については、園における教育活動等の成果や取り組みを検証することにより、園の運営を園のみでなく、保護者や地域の皆さんの理解と協力を得ながら園の環境整備を含め、幼児教育をより良い充実したものにするために実施しています。

平成 29 年度の学校評価を（自己評価）を実施しましたのでその結果を公表し、今後の園運営に生かしていきます。

1、教育目標及び理念

- *自然からの恩恵ときびしさを感じ、自然を愛する子ども
- *自分で考えて、工夫して、やり通すことが出来る子ども
- *夢や希望やあこがれを持つことが出来る子ども

<自然をしぜんに>

自然を、“しぜん”に優しく受けとめる事が出来る気持ちの優しい、心豊かな、特性のある子どもたち、そして自然のきびしさも感じる事が出来る心を育てて行きたいと、私たちは願っています。そして子どもたちの心に優しい愛と夢を育てることを教育目標にしています。

2、評価結果

全ての教職員が園の運営について理解し、各々の課題をもって保育にあたっていることが分かります。但し、教職員間での話し合いや研究の深まりについては、それぞれ課題があるように思います。この結果を今後の研修に生かしていきたいと思えます。

	評価項目	結果	内 容
1	保育の計画性	A	園の教育目標を常に意識し、保育の計画立案をしています。ただし、指導計画は現在の子ども達に即しているか検証が必要である。
2	保育の在り方、幼児への対応	A	一人ひとりの個性を大切にし、その子の発達に合わせた個別の対応をしようとする姿が見えます。
3	教師としての資質や能力・良識・適正	A	園内はもちろん、園外においても教育者としての自覚を持って日々生活をし、常に子ども達に還元できることはないかと模索している様子があります。昨年度同様、一般的な教養の部分を深めていくことが大切だと思います。
4	保護者への対応	A	教育内容を理解し、保育に対して協力的な保護者のみなので、その信頼関係を崩すことのないような対応を心掛けています。
5	地域の自然や社会とのかかわり	A	地域の特性を生かした保育を心掛け、地域の方々の協力を仰ぎ、より良い関係性を築くように努力をしています。
6	研修と研究	A	年 6 回の園内研修では、少人数の利点を生かし充実した内容になるように計画し、園外での研修には出来るだけ多く参加するように心掛けています。